

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2013-51989(P2013-51989A)

【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2011-190083(P2011-190083)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月24日(2015.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いた遊技を実行する遊技機であって、

前記遊技媒体を検出する検出手段と、

前記検出手段による遊技媒体の検出に基づいて抽選処理を行う抽選手段と、

当該抽選手段による抽選結果に基づいて、所定の演出画面を表示可能な表示領域を備える表示手段と、

前記抽選手段による抽選結果に基づいて可動演出を実行する可動体と、

を備え、

前記可動体による前記可動演出の動作パターンは、前記表示領域の周辺の第1の位置から当該表示領域の前面の第2の位置まで移動する途中で、前記第2の位置に向かうことを抑制した後、前記第2の位置に移動することを期待させる関連拳動を実行し得ることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記遊技媒体は遊技球である

請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記表示手段は液晶表示装置である

請求項1又は2記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

特許文献1に記載の遊技機によれば、可動部材に興味ある動きを行わせるようにしてい  
るが、遊技の興奮を向上させるには十分ではなかった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、可動体を用いた演出をより好適に行うことで、興趣を向上させた遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述の目的を達成するために、本発明は、遊技媒体を用いた遊技を実行する遊技機であって、前記遊技媒体を検出する検出手段と、前記検出手段による遊技媒体の検出に基づいて抽選処理を行う抽選手段と、当該抽選手段による抽選結果に基づいて、所定の演出画面を表示可能な表示領域を備える表示手段と、前記抽選手段による抽選結果に基づいて可動演出を実行する可動体と、を備え、前記可動体による前記可動演出の動作パターンは、前記表示領域の周辺の第1の位置から当該表示領域の前面の第2の位置まで移動する途中で、前記第2の位置に向かうことを抑制した後、前記第2の位置に移動することを期待させる関連拳動を実行し得ることを特徴とする遊技機である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、可動体を用いた演出がより好適に実行されることによって、興趣が向上された遊技機が提供される。